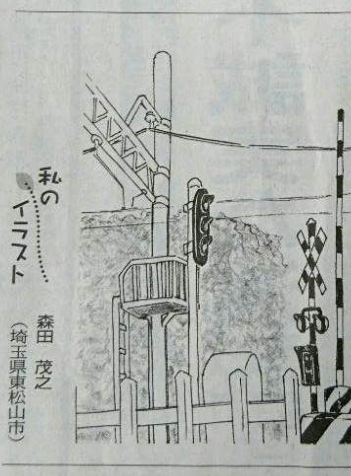


# 負の遺産リニアよりも守るべきものがある

## リニアよりも 駅の安全策を

自営業 福島 憲太 34  
(京都市)  
二〇一一年一月、JR新大久保駅でホームから転落した男性を助けようとした韓国人留学生が線路に飛び込み、電車にはねられ亡くなった。この事故を題材にした映画「あなたを忘れない」が公開されてから、今月で十年になる。  
韓国人留学生の生涯が丁寧に描かれた「泣ける」映画だったため、今でも印象に残っている。残念ながら、このフィクション映画

よりも、転落事故で亡くなる人が後を絶たない現実の方が「泣ける」気がする。置には投資が進まず安全策が不十分である現状が歯がゆい。国および鉄道事業者がホームから転落し、亡くなる事故が起きた。リニアには、「スピード」を上げて安全策を講じてほしい。



会社員 成田 隆浩 58  
(さいたま市大宮区)

## 鉄道網維持の議論を

国鉄が分割民営化され、JRが発足してから今年で三十年になる。旅客会社六社と貨物会社の計七社でスタートしたが、各社の明確はぐつきりど分かれていく。

昨年十一月、JR北海道は「単独で維持困難」とする線区を発表した。JR北海道の経営努力がどうだったのかという厳しい目で見がちだが、それだけでいいのだろうか。

営業収支だけを見ると、ローカル線問題は北海道だけの問題とは言えない。実際、自然災害で打撃

を受け、ローカル線はなかなか復旧されない。東日本大震災の被災線区では、新交通システム「BR-T（バス高速輸送システム）」に置き換えられたところもある。人口減少に歯止めのかからない日本では、このままでは大都市とその近郊しか在来線は残らないのではないかと危ぶまる。そして、それは地方の過疎化に拍車をかけるといった無循環に陥ってしまっただけではないだろうか。

東日本大震災の時は東北の線路網を生かし、被害の及んでいない区を巧みに利用して被災地にカンをリンを届けられた例もある。鉄道網とは、張り巡らされていることに意味があるのであって、途中が寸断されてしまえばその価値はなくなってしまっただけではないか。

## アホノミクスの真玉リニア事業（財投）も危ない？

TTPも離脱し、過剰保護貿易によって、アメリカ一國主義を強引に進めようとする米国トランプ大統領。その言動、ふるまいは排外主義そのものだ。

政治経験がなく、思考がまったく予測

できない最高権力者という点では、恐怖以外の何ものでもない。またイスラエル寄りな政権運営からは、むしろ戦争前夜ともいえる。来月早々には、狂犬の異名をもつマティス国防長官（退役軍人）が新閣僚として、世界に先駆けて初来日も予定されている。米軍駐留費の増額負担かはたまた実戦兵力部隊の提供か・・・？

大統領就任前からトランプタワーまで出向き「ポチ宣言」までした安倍首相。同盟関係をカサに国民を欺き、何れの要求も既定路線といえる。さらに二国間自由貿易協定によって国内産業はズタズタにされることも、まったく意に返さない状況といえる。

したがって、強大な利権構造を背景に繰り広げられるアホノミクスに組込まれたリニア事業も、トランプ政権誕生によって、暗雲が立ちこめているといえる。

**今こそ政府そしてJR東海は、「負の遺産でしかないリニア事業」から撤退をし、真の保護主義によって、持続可能な社会を目指し、そして国内の産業を守るべきだ。**